

# Sports Net

## ちば 2023年4月号

New Japan Sports Federation in Chiba Prefecture

2023年4月1日

「スポーツは平和とともに」  
新日本スポーツ連盟千葉県連盟  
〒263-0024 千葉市稲毛区穴川3-1-17  
Tel 043-287-7353 Fax 043-256-1454  
URL <http://njsf-chiba.perma.jp>  
E-mail [njsf1970chiba@gmail.com](mailto:njsf1970chiba@gmail.com)  
発行人 園川 峰紀  
通巻 248号

～～桜の蕾も膨らむ中、白球を追う！！～～

## 第57回全国軟式野球大会千葉県大会（リーグ戦）開幕

2023年度の千葉県野球協・リーグ戦の開幕戦が3月12日（日）連日のポカポカ陽気で桜の蕾も膨らむ中、犢橋球場（千葉市花見川区）でプレーボール。第1試合：栄町クラブZ vs 海浜ブラザーズ、第2試合：花見川Cat's vs 千葉METEO、第3試合：フランシエvs放医研、第4試合：FC（Fielders Choice）vs JUMPの合計4試合が行われました。  
【第1試合】栄町クラブZ vs 海浜ブラザーズ：10対0で栄町Zの勝利。



栄町エース土屋投手の力投

1回の攻防が試合の行方を決めました。

海浜ブラザーズの1回表の攻めはあっさりと三者凡退。その裏栄町Zの攻撃は熾烈を極め、先頭打者が出塁するとすかさず連打。市川選手のスリーランホームランを含め4点

先取。

その後も3回の裏の攻撃で弓立選手の満塁ホームランが飛び出し4回コールドでゲームセット。全国大会常連、選手層の厚さで栄町Zが完勝。

今年もトップに君臨する可能性があります。

【第2試合】花見川Cat's vs 千葉METEO：4対4の同点。



実力が伯仲するチーム同士の闘い。

1回の攻防で2対1と千葉METEOが1点リードし、5回の攻撃で追加点を挙げ、優位にゲームを進めるも、最終回（6回）の攻防で花見川が3点を挙げ逆転。



その裏METEOも1点をもぎ取り、再逆転もあるか！と思いきや攻めきれず同点でゲームセッ

ト。両チームの今後の戦いが楽しみ。

【第3試合】フランシエvs放医研：5対14で放医研の勝利。



2022年度は3部リーグで闘ってきた両チーム。投手の出来が勝利を左右すると言いますが、フランシエの投手の出来が見事に反映した試合でした。

放医研は初回から得点を重ね3回表までになんと毎回得点の11点。コールドゲームの可能性もありましたが、フランシエが意地を見せて3回裏に5点を返すも大量点の差は如何ともしがたく敗退。両チームとも投手力の構築が課題と見ました。

【第4試合】FC（Fielders Choice）vs JUMP：3対1 JUMPの勝利

FCは今年1部に昇格した上り調子のチーム。

一方JUMPは長く1部で活躍しているチーム。



火消しが間に合わなかった！fielder's choice

初回から見ごたえのある試合展開となりました。



JUNPの攻撃 打ったー！ 打球はどこに！

試合展開は接戦となりましたが、2回・3回・5回に1点ずつ、着実に点を重ねたJUMPが3対1で勝利。

消防士が主体のFC。火消が若干間に合わなかったようです。両チームの今後の活躍を期

待したい。

時あたかもWBCで日本中が野球に集中している中での開催という事もあり、千葉県野球協のリーグ戦ではどんな選手が活躍するか、そんな期待を込めて球場に足を運んでみました。2023年度は前年度に比べ登録チーム数が減少（27⇒24）したことから、キャプテン会議で検討し2部制でスタートとなりました。本リーグ戦はこれから9月までの長丁場。「スタートではどのチームにも優勝のチャンスがあります。うちのチームも頑張ります！」力強いメッセージを残してくれた選手の笑顔が印象的でした。



## 第51回定期総会を開催します



2023年4月15日（土）に新日本スポーツ連盟千葉県連盟の第51回目の定期総会を開催いたします。

昨年の定期総会において役員を選出を行っているため、今回の総会では選挙はありません。

しかしながら、昨年度一年間の活動を総括し、2023年度の活動方針や予算を確定するための大事な会議です。

各協議会で代議員を選出し、総会を成功させましょう。

### 【総会議案概要】

#### <情勢>

サッカーワールドカップでの差別に対する抗議や発言、平和を希求する声に触れました。

また、スポーツ基本法や各自治体で作成しているスポーツ推進計画の内容について、民間参入を推し進めてきたことによって「受益者負担」の構図ができあがっていることに対しての警鐘を鳴らしました。

全国スポーツ祭展開催に際し、室伏スポーツ庁長官をはじめ各自治体の首長からメッセージが寄せられたことについて触れました。

千葉県や千葉市に対して行った要請活動に

ついて、回答内容について評価しました。

#### <総括>

コロナ禍での大会開催に腐心したものの、計画していた大会を何とか開催出来たこと。

会員を増やすことなど少しずつ成果が見えてきていること。

平和の問題について会員やスポーツ愛好者に周知しきれなかったこと。

スマホ用のホームページを作り切れていないことなどについて総括してきました。

#### <方針>

昨年同様、6つの柱から構成しました。

総括を反省材料としながら、より良い組織、活動を実践するため、昨年実現できなかったことを、実現することを主な課題と位置づけました。

#### <予算>

複合機の入れ替えに伴うリース契約を反映、報酬（人件費）の引き下げ、家賃の更新手数料、会員数増加に伴う会費収入は増額したが、種目別事務支援費等が減ってきています。

電気代の大幅値上げが予定されていることから、1.5倍ほど見込みました。

繰越金が年々低下しています。

# 春の陽気に誘われ300名余の拳士が集まった ～～春季空手大会・第58回千葉県スポーツ祭典～～

桜の開花宣言を受け、3月21日（日）春の陽気に誘われ、県内外から300名余の選手が宮野木スポーツセンターに集い春季空手大会が開催されました。

参加人数の大部分が小学生。開場前のスペースには保護者同伴の子供さんがワイワイガヤガヤと雀の学校のよ



うな騒がしさ。

主催者によりますと参加者の7割が小学生。残りが中学生を含めた一般の選手との事。

因みに今回の大会では予定していたよりも多くの参加があり、本番ギリギリまで組合せにてんやわんやの状態。

おまけに大会役員として参加して頂いた審判の方も予想以上に集まって頂き、裏方は弁当の手配や審判配置に冷や汗を感じる場面もありましたが、それでも審判の先生方のメリハリの在る掛け声。選手たちが嬉々として声を上げ『拳闘』している姿にただただ感激・・・とのことでした。

空手は競技指導の特性もあり、始めるのが早い方が良いと言われ小学生から始める選手が多いものの、中学生以上になると部活で空手を指導できる先生が居ないこともあり地域クラブ＝私塾での指導が多くなるとの事等々空手界の現状も知る機会で



もありました。

会場利用時間が午後5時迄には全て終了しなければならないとのことで、開会式・表彰式は行わず試合のみ、試合形式に形はなく組手のみ、更には通常1分半の試合時間も1分間とする等、かなりスピーディな展開となりました。

会場内に設けられた4面のコートでは、予定より若干遅くなりましたが、午前8時45分頃から絶えることなく試合が展開されました。

午前の部は、小学生男女の個人戦と団体戦が行われ、団体戦の決勝では応援の仲間や保護者の方々の注目の中、優勝はMNR。準優勝／3位は大人数で参加の仙武会がそれぞれ勝ち取りました。



お昼の休憩をはさんで、午後は中学生・高校生・一般の選手の出番。

流石小学生と違って試合は迫力満点。気合を入れる声や動作にも「これぞ空手！」と呼ぶにも相応しいピリッとした空気に包まれました。午後5時には全ての試合を終了。

今回会場となった宮野木体育館は手狭ということや館内での制約が比較的厳しいこともあり、参加者に皆さんにはご迷惑をおかけしましたが、今年度は2回の会場に天台スポーツセンター・武道館を確保していますので期待が持てそうです。



## 江月水仙ロード&をくずれ水仙の里ウォーキング

快晴、絶好のウォーキング日和となりました。2台の車に分乗し、一路鋸南町に。

最初の散策コース「江月水仙ロード」。

房総の水仙栽培は江戸時代から続いています。花の少ない正月に育て江戸の町まで出荷しました。大変人気があったそうです。



青空の下、菜の花畑と水仙畑のコラボレーションを堪能しながらの散策。振り向くと遠くに富士山も眺めることができました。

たっぷり楽しんだ後再び車に乗り次の散策コース「をくずれ水仙の里」へと向かいました。ここは佐久間ダムを作ると共にダム周辺を自然公園としました。

「日本一の水仙の里」の看板を右折しトンネルを抜けると斜面一面に広がる水仙が現れ「オー」のどよめきが起こりました。

地元住民の方々の努力で山の斜面の木を伐採し毎年水仙を植え続けています。その姿は圧巻です。また、桜、梅、アジサイ、彼岸花など四季折々に楽しめるように工夫されています。

まずは紅梅・白梅広場。既に五分咲き。足元には彼岸花の葉っぱが群生していました。桜並木も蕾を付けところどころに開花した桜（河津桜）もありました。

上から景色を眺めたいと展望台に挑戦。展望台から眺める水仙の広がり「大変だったけど登ってよかったわ」の声。これからもどんどん水仙が広がる予定です。

道の駅「保田小学校」に寄り「お土産とおや

つ」タイム。おやつは学校給食人気のメニュー「黄な粉揚げパン」でした。

2月例会はバーベキュー大会&探梅ウォーキング。

車3台で出発。まずは白井公民館横の「道祖神」見学から。

白井村の入り口に置かれた道祖神は村に悪いものが入らないように見張ります。ここは「白井の荘」という荘園でした。

次に向かったのがその先にある「まつくれば（馬つくれ場）」と言われる広場。馬の蹄鉄を装着したり修理したりするところです。この近辺の人たちが馬を連れて集まったところです。そこには2体の「馬頭観音」が置かれています。



江戸時代は馬を大変大切にしていたことが分かります。

ひとしきり歩いた後は、恒例のバーベキュー大会。今回はノンアルコールのビール付き。

そして特別メニューとして落ち葉で作る「焼き芋」これは探梅ウォーキングが終了してからのおやつ。

「こんなにおいしい焼き芋食べたことがないわ」の声。落ち葉でじっくり焼いた焼き芋のおいしさを堪能してもらいました。

梅を求めて泉自然公園へウォーキング。梅園の梅が貝殻病で枯れてしまい新しい苗木に植え替えられているところで、代わりに「ロウバイ」を堪能してきました。

(文責 日野正生)

# 理事会報告

3月30日(木)今年度4回目となる理事会を穴川コミュニティセンター3階会議室で開催しました。

主な議題は、4月15日(土)に開催する第51回定期総会に諮る議案についての討議でした。

- ・理事長挨拶
- ・第51回定期総会の準備として4月15日10時30分スポーツセンター3F第一研修室に役員が集合、会場準備。

13時より開始。会終了後懇親会予定。

## 各協議会から

野球 2月18日総会\*キャプテン会議

3月12日より開幕。昨年27チームの参加でしたが5チーム退会、再参加2チームあり計24チームで開幕。

バレーボール 本年より「幹事チーム」の働きで大会などを進める。全国大会は10チーム参加を目指す。

Mixバレー 3チームでのスタート、5月の大会は

5チーム参加で。

スキー 全国祭典51名の参加。 3名の入会者あり。指導員試験受験。

卓球 3月15日お花大会。

現在加盟登録360名

’23年度計画に平日の大会が三回あり。

空手 祭典3月21日、24団体380名参加  
宮野木体育館の利用が昨年までと異なり形はやめたため300名に変更。

ウォーキング 2団体でスタート。

神奈川県と合同での行事を予定。

ランニング 恒例の青葉の森リレーマラソンを5月21日に開催。

140チーム、1,200名の参加申込み。昨年より50チーム増。

千葉経済大学から20名のボランティア

サッカー ミックスサッカーを計画。C1リーグはクローズ。テストマッチを年二回。

## 51回定期総会代議員選出の確認。

### 議案の説明

## スポーツアラカルト

### 2023WBCを観て思うこと・・・

#### 観客も選手も楽しむ

3月7～21日に、20カ国の参加で、野球の国・地域別対抗戦、第5回ワールド・ベースボール・クラシックが行われています。(3/10現在)

第1・2回WBC優勝国である日本は、3度目の優勝を狙い、今回最強のメンバーで戦っています。

日本は、9日に対中国戦を8-1で勝利。10日に対韓国戦を13-4で勝利しました。点差が大きいながらも、かなりの熱戦でわくわくさせるものでした。

それもそのはずでメジャーリーガーで二刀流の大谷、最年少三冠王の村上選手などが参加しており、素晴らしい活躍がありました。

2023WBCの魅力は、この第一線で活躍している現役のベストメンバーの活躍が充分に見られ、堪能できるからです。彼らの素晴らしいプレーに驚きと感嘆の気持ちが出ました。是非とも参加した選

手が、優勝のプレッシャーに負けず、本来の実力を生き生きと発揮させ、素晴らしいプレイを続けてもらいたいものです。

そもそも、野球のオフシーズンからすぐの時期に開催されるので、本調子を出すのが難しいはずだからです。

また、プレッシャーに負けないと共に、気持ちの持ち方も大いに大切だと思いました。

今回参加している日系のヌートバー選手(カージナルス所属)が、攻守に活躍し、チームのムードメーカーでもありました。

彼は、日本人の母親の影響で、小さい頃から日本の野球にすごく憧れていて、今回日本代表としてプレーできることを喜んでいました。さらに母親から「楽しんで野球をしておいで」と言葉をかけられていたようです。

彼は、野球が楽しくて、自分の全力を出してプレーをしているのだと思います。そして、我々に素晴らしいプレーで、感動を与えているのです。

県連盟監査委員 黒須 直樹

# SPORTS CALENDAR

## 4月

4月 2日 (日) 野球協 リーグ戦  
4月 9日 (日) 野球協 リーグ戦  
4月16日 (日) 野球協 リーグ戦  
4月23日 (日) テニス 370チーム対抗男子  
野球協 リーグ戦  
4月30日 (日) テニス 第16回なのはな大会  
野球協 リーグ戦

4月15日 (土) 県連盟総会 天台スポーツ科学センター  
4月22日 (土) 県卓球協議会総会 穴川ロジェイセンター

## 5月

5月 3日 (水) 卓球協 春季卓球大会  
テニス協 350チーム対抗女子  
5月 5日 (金) ミックスバレーボール大会  
(印西市松山下公園体育館)  
5月13日 (土) なのはな大会 女子D (稲毛海浜)  
5月20日 (土) なのはな大会 男子D (稲毛海浜)  
5月21日 (日) テニス大会予備日  
青葉の森リレーマラソン  
5月27日 (土) なのはな大会 男女S (稲毛海浜)

### WBCでの日本の輝 侍ジャパンは輝! 輝の吹にみるのは?

日本中を熱狂の渦に巻き込んだWBC=ワールド・ベースボール・クラシックでの日本チームの活躍に、球場に足を運んだ人達は勿論のこと、テレビの前で観戦された人たちも改めて野球というスポーツが素晴らしいものであると感じたことと思います。

特に現役大リーガー、二刀流で大活躍中のエンジェルス・大谷翔平選手、チーム最年長パドレス・ダルビッシュ有投手の二人の一手一投足にはファンも釘付け。

その他に今年から大リーグ・ボストンレッドソックス入団の吉田正尚選手、昨年最年少で完全試合を達成した佐々木朗紀投手、2022年投手全部門のタイトルを総なめにした山本由伸投手等そうそうたるメンバーで臨んだ大会でした。

その中でも初の日系選手として代表入りしたラーズ・ヌートバー選手が披露したペッパーミルパフォーマンス。「小さなことからコツコツと継続して進んでいけば良いことが起きる」という意味を込めており、同選手が所属するカージナルズでは本物のペッパーミルを

もってパフォーマンスする姿がカージナルズ公式ツイッターにも収められています。このパフォーマンスは瞬く間に日本中に広がり、店頭からもペッパーミルが売れまくっているという現象まで生んでいるとの報道もありました。

同選手はWBC日本代表に合流後、チームの団結力を高める為にこのパフォーマンスを取り入れたそうですが、まさに意を得たものと言えます。今回の日本代表が伸び伸びと野球を楽しむことが出来たのも同選手のこのパフォーマンスが一因かもしれません。

しかし今甲子園で行われている選抜高校野球で東北の選手が出塁した1塁で味方ベンチに向かってこのポーズをしたところ、1塁審がベンチに駆け付け注意を行いました。試合後東北の監督は「子供たちが楽しんでいるのにどうして大人が止めるのか」。一方、高野連は「不要なパフォーマンスやジェスチャーは慎むようお願いしてきた」と頑なな態度を崩しません。

スポーツの主体は選手であり、選手が自由に考え楽しむことを第一義的に考えてもいいのかな?と思います。



理事長の独り言